

## 大分県農業協同組合南部エリア 野津町ピーマン生産部会

～令和5年8月30日(水)訪問～ 【臼杵市】



大分県は西日本で最大の夏秋ピーマン産地であり、その中でも臼杵市野津町は、令和4年度の販売量が2,300トン、販売金額が7億8千万円と県内でも有数の産地となっています。野津のピーマン選果場には、大分市、佐伯市、臼杵市の産地から収穫されたピーマンが持ち込まれ、関西方面を中心に出荷されています。

令和5年度には選果場の機能を強化するため、新たに自動で箱詰めをする機械の導入や選果レーンの増設、箱詰めされたピーマンを積載するロボットの新設等を実施した結果、作業の省力化が図られ、1日当たりの処理能力も倍増されています。

懇談では、野津町ピーマン生産部会の生産者の方々からお話を伺いました。平成に入ってから減少傾向が続いていた生産者数は、葉タバコからの転換や県や市による就農支援等により、10年前と比べて倍増しているとのことでした。生産者が増加して栽培面積が拡大する一方で、燃料や資材の高騰、少子高齢化による人手不足、温暖化の影響による病害虫の発生や猛暑による生理障害等の課題が生じている現状についてもお話を伺いました。

県としても引き続き支援を行うとともに、必要な事項については国にも要望したいとお伝えし、懇談後は、選果レーンの増設等を実施した選果場を見学させていただきました。

### 対話風景



### 関連する県の施策

☆事業名：短期集中県域支援品目生産拡大推進事業

事業概要：短期集中県域支援品目について、農業団体等が行う産地課題の解消につながる取組に対し、期間を定め、総合的に支援

・短期集中県域支援品目（ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーーツ）

予算額：7億5,959万円（うちピーマン対策 3,350万円）

#### 【野津町ピーマン生産部会】

生産農家144戸、栽培面積29.6haを有する県内最大のピーマン部会です。臼杵市は新規就農者の確保を図るため、「臼杵市アグリ起業学校」や「ファーマーズスクール」を開校し、これまでに37組47名が就農しています。

